PRESS RELEASE 2026 年 11 月 16 日
2026-038

取材のお願い

JAPANFOUNDATION 国際交流基金

一人ひとりの平和の原点を見つめ、対話と共創で未来を考える

日本と ASEAN の高校生による対話・交流プログラム「AJPAP2026」を長崎で開催





AJPAP2025 の様子

国際交流基金（JF）は、一般社団法人 Peace Education Lab Nagasaki との共催により、日本と ASEAN の高校生が「平和」について語り合い、共に考える対話・交流プログラム「日 ASEAN 青少年平和交流・対話事業（ASEAN-Japan Peace Ambassador Project, AJPAP）2026」を実施します。

本事業は、日本と ASEAN の青少年が、多様な価値観や背景を持つ人々との対話を通じて平和を自分ごととして捉え、一人ひとりが平和な社会の担い手として考え続ける姿勢を育むことを目的としています。

プロジェクト 2 年目となる今年度は、2026 年 12 月 4 日（金）から 7 日（月）にかけて、カンボジア、ミャンマー、シンガポール及び長崎の高校生計 12 名が集い、対話と共創を通して未来の平和について考えます。

参加者はまず、長崎原爆資料館や平和公園でのフィールドワーク、被爆者による講話や長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）と ASEAN 平和・和解機構（ASEAN-IPR）による共同レクチャーを通じて、戦争や核兵器が人々の暮らしや尊厳に与えた影響について理解を深めます。また、日本と ASEAN それぞれの視点から平和構築や和解の取り組みに触れながら、平和な社会の実現に向けて一人ひとりに何ができるのかを考えます。

その後、参加者は歴史的に海外との交流の窓口として発展してきた長崎ならではの歴史や文化を手がかりに、「平和とは何か」という問いをさらに深めていきます。出島では、多様な文化や価値観を持つ人々が交流しながら社会を築いてきた歴史に触れるとともに、共生と排除が併存してきた長崎の歩みや、地域社会が抱えてきた課題について学びます。また長崎市外海地区では、潜伏キリシタンの歴史やド・ロ神父の足跡をたどりながら、厳しい自然環境の中で人々が支え合いながら暮らしを営んできた姿に触れます。こうした学びを通じて、「人は何を大切に生きるのか」「本当の豊かさや幸せとは何か」といった根源的な問いに向き合います。

プログラムの集大成として、参加者は大型絵画作品「キッズゲルニカ」の共同制作に取り組みます。プログラムを通じて得た学びや気づきを共有し一つの作品として表現する過程で、対話を重ねながら、協働によって平和を創り上げるプロセスを体験します。完成した作品は、後日、爆心地近くを流れる下の川周辺において展示する予定です。

AJPAP では、答えを導き出すこと以上に、異なる背景を持つ人々が対話と協働を重ねながら問いに向き合い続ける

この件に関するお問い合わせ：
国際交流基金 ブランド推進部 広報課 （担当：福島、熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

ことを大切にしています。本事業を通じて、日本と ASEAN の若者が長期的な人的ネットワークを築き、それぞれの地域で平和な社会の実現に向けた行動につなげていくことを期待しています。

本事業は、日本と ASEAN の次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」の一環として実施しています。また、本事業は ASEAN 事務局協力事業に認定されるとともに、ASEAN が策定した青少年分野の 5 か年計画「ASEAN Work Plan on Youth 2026-2030」の Implementation Plan にも位置付けられており、日本と ASEAN の若者による中長期的な交流・対話を推進する事業として期待されています。

本事業を共催する Peace Education Lab Nagasaki は長崎から平和教育と次世代人材育成に取り組む一般社団法人です。（公式ウェブサイト https://plab.jp/）

記

事業名称：日 ASEAN 青少年平和交流・対話事業（ASEAN-Japan Peace Ambassador Project, AJPAP）2026
主催：独立行政法人 国際交流基金（JF）
共催：一般社団法人 Peace Education Lab Nagasaki（長崎県長崎市）
協力：ASEAN 事務局
期間：2026 年 12 月 4 日（金）～12 月 7 日（月）
参加者：高校生 12 名（カンボジア 3 名、ミャンマー3 名、シンガポール 3 名、長崎 3 名）
引率者 3 名（カンボジア 1 名、ミャンマー1 名、シンガポール 1 名）
ASEAN 平和・和解機構（ASEAN-IPR）職員 1 名
使用言語：英語

主な日程：

12 月 4 日（金） 会場：長崎スタジアムシティ
・オリエンテーション

12 月 5 日（土） 会場：長崎原爆資料館、平和公園ほか
・長崎の同世代の「バディ」とともに平和公園を巡りながら、共に考え、お互いに意見を交わし合う対話型プログラム（Peace Tour）
・城臺美彌子氏の被爆証言講話
・長崎大学 核兵器廃絶研究センター（RECNA）元センター長・長崎大学客員教授 鈴木達治郎氏と ASEAN-IPR 職員（調整中）による共同レクチャー

12 月 6 日（日） 会場：出島、大浦天主堂、外海エリアの教会群ならびにド・ロ神父の関連遺産
・長崎の歴史や文化を手がかりに、多文化共生や本当の豊かさ、幸せとは何かについて考えるフィールドワーク

12 月 7 日（月） 会場：出島メッセ長崎、THE GLOBAL VIEW 長崎
・「平和の原点」をテーマにした大型絵画作品「キッズゲルニカ」の共同制作
・修了式・フェアウェルパーティー

この件に関するお問い合わせ：
国際交流基金 ブランド推進部 広報課 （担当：福島、熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

AJPAP2025 のレポートはこちらをご覧ください。
ウェブページ https://asiawa.jpf.go.jp/culture/events/ajpap-2025/
ムービー https://youtu.be/89-Ls_XS8RE

本プロジェクトについて、同行取材・参加者へのインタビューが可能です。
また、主催者ならびに参加高校生などへの取材も可能です。（日英の通訳を手配します。）
詳しくは、国際交流基金 ブランド推進部 広報課 press@jpf.go.jp までご連絡ください。

以上

「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」について

国際交流基金（JF）は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

日本語パートナーズ派遣事業と双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ派遣事業
アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業
相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト https://asiawa.jpf.go.jp/では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

この件に関するお問い合わせ：
国際交流基金 ブランド推進部　広報課　（担当：福島、熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp